

令和4年度 工学会役員会・総会

日時：令和5年4月8日（土）14:00～

場所：生物資源科学部 121 講義室

議案目次

[審議事項]

1号議案	令和3年度	一般経過報告	・・・・・・・・・・	p.2～3
2号議案	令和3年度	会計決算報告及び監査報告	・・・・・・・・・・	p.4～6
3号議案	令和4年度	事業計画	・・・・・・・・・・	p.7～8
4号議案	令和4年度	予算（案）	・・・・・・・・・・	p.9～10

[報告事項]

説明資料	『令和5年	学科改組の概要』～生物環境工学科と工学会～		p.11～16
------	-------	-----------------------	--	---------

1号議案 令和3年度 一般経過報告

【工学会関係】(R3.10～R4.9)

1) 総会・役員会・理事会・企画委員会の開催

①第1回理事会

メール審議 : 令和3年11月27日～令和3年12月5日

- ・ 令和2年度一般経過報告
- ・ 令和2年度会計決算報告及び監査報告
- ・ 令和3年度役員改選案
- ・ 令和3年度事業計画案
- ・ 令和3年度予算案

②令和3年度 役員会

メール審議 : 令和3年12月16日～令和3年12月24日

- ・ 令和2年度一般経過報告
- ・ 令和2年度会計決算報告及び監査報告
- ・ 令和3年度役員改選案
- ・ 令和3年度事業計画案
- ・ 令和3年度予算案

③令和3年度 総会・懇親会

コロナ禍の影響により開催中止

④令和3年度 第2回理事会 R4.3.17～3.19 (メール会議)

- ・ 工学会長賞候補者の承認

高橋朋弥, 境野拓実, 小谷野太一, 袴田敏光, 早川直希の5名(成績;第4～8位)

⑤会計監査

R3.10.8 事前に監査役にメールによる資料送付、当日質疑応答

2) 学科及び準会員(在校生)への支援・補助

- ・ 卒業記念品(印付きボールペン)×115名
- ・ 1年生へのTシャツ贈呈なし→フレッシュマンセミナーでの卒業生講師に対する謝礼
- ・ 測量実習時の実習服購入補助, コロナ感染対策としてのゴーグル贈呈(2年生)
- ・ 学会発表者支援に対する支援=申請者なし
- ・ 就職支援セミナー (web公開)

3) 正会員数: 8,060名=7,942名+118名 (R4.3.25 卒業生)

4) 学部校友会・他分会行事など

- ・ 学部校友会 総会・懇親会

R3.7. (土) 総会、懇親会は中止

【学科関係】

1) 受験者数の動向

(R4) 推薦：57名，留学生3名，総合型選抜7名

一般：311名（A：114名，N：166名）

(R3) 推薦：67名

一般：311名（A1：79名，A2：69名，N1：118名，N2：45名）

(R2) 推薦：59名

一般：559名（A1：134名，A2：130名，N1：146名，N2：149名）

2) 学科研究室及び構成教員

- ・生物生産システム工学研究室（川越義則准教授・梅田大樹准教授・宮本眞吾特任教授）
- ・バイオメカトロニクス研究室（内ヶ崎万蔵准教授）
- ・生物生産流通施設学研究室（都甲洙教授・佐瀬勘紀特任教授）
- ・地域環境保全研究室（笹田勝寛准教授・對馬孝治准教授）
- ・環境土木施設工学研究室（齊藤丈士教授・川本 治特任教授）
- ・建築・地域共生デザイン研究室（栗原伸治教授・藤沢直樹専任講師）
- ・水資源環境工学研究室（長坂貞郎教授・山崎高洋専任講師）
- ・地球環境・資源リモートセンシング研究室（串田圭司教授・宮坂加理助教）
- ・動物生態環境学研究室（三谷奈保専任講師）

3) 生物環境工学科 在籍学生数（令和4年10月26日現在）

1年次124名，2年次116名，3年次139名，4年次118名

計497名（男414 女83）

※充足率95.5%=497/520（定員520名=130名×4年分）

4) 行事

- ・卒業式

R4（2022）.3.25（水）生物環境工学科 卒業生115名

- ・入学式

R3（2021）.4.2 生物環境工学科 入学生110名

- ・スポーツフェスタ（1年生）

実施できず Tシャツの贈呈もなし

- ・フレッシュマンセミナーの学外研修（1年生）なし

- ・オープンキャンパス

事前予約制で5/29，8/6-7にて開催

5/29：1,812名 8/6-7：2,837+2,539=5,376名（学部計）

2号議案(その1) 令和3年度 会計決算報告

(資料-2-1)
令和4年10月4日

工学会 令和3年度 一般会計(決算)

【収入の部】 (令和3年10月～令和4年9月)

科 目		令和3年度執行	令和3年度予算	差異	摘 要
会費	会費	2,893,280	1,590,000	1,303,280	
	1.学部校友会交付金	2,893,280	1,590,000	1,303,280	
	分会交付金	2,879,000	1,560,000	1,319,000	令和2年度+令和3年度 2ヶ年分
	会報発送費補助金	14,280	30,000	▲ 15,720	
	2.別途会計繰入金	0	0	0	
				0	
	積立金・繰越金・その他	697,643	697,629	14	
	1.前年度繰越金	696,969	696,969	0	
	2.その他	674	660	14	
				0	
収入 合計		3,590,923	2,287,629	1,303,294	

【支出の部】

科 目		令和3年度執行	令和3年度予算	差異	摘 要	
経常費	経常費	241,883	1,160,000	▲ 918,117		
	1.事務局運営費	6,120	50,000	▲ 43,880		
	2.会合費	1,200	20,000	▲ 18,800		
	3.交際費	0	50,000	▲ 50,000		
	4.交通費	0	150,000	▲ 150,000		
	5.補助費	223,013	870,000	▲ 646,987		
	補助費	1)学科振興対策費	30,000	300,000	▲ 270,000	1年次フレセミ(講師謝礼15,000×2名)
		2)準会員補助費	183,013	470,000	▲ 286,987	
		①学会発表者支援	0	90,000	▲ 90,000	
		②卒業生表彰(4年)	50,000	50,000	0	
		③実習着支援(2年)	69,000	300,000	▲ 231,000	
		④その他	64,013	30,000	34,013	会長賞賞状+コロナ感染対策ゴーグル
		3)謝恩会補助費(4年)	0	100,000	▲ 100,000	
	4)その他	10,000	0	10,000	オープンキャンパス卒業生謝礼	
	6.通信費	11,550	20,000	▲ 8,450		
				0		
事業費	事業費	499,450	980,000	▲ 480,550		
	1.総会・懇親会補助費	0	0	0		
	2.新入生記念品(1年)	0	200,000	▲ 200,000		
	3.農業農村工学必携(3年)	0	0	337,960		
	4.卒業生記念品(4年)	210,170	250,000	▲ 39,830		
	5.会報発送費	14,280	30,000	▲ 15,720		
	6.ホームページ維持・更新費	275,000	500,000	▲ 225,000		
	7.データベース維持費	0	0	0		
				0		
	予備費	0	147,629	▲ 147,629		
	その他	0	147,629	▲ 147,629		
実質支出 小計		741,333	2,287,629	▲ 1,546,296		
次年度繰越金		2,849,590				
支出 合計		3,590,923	2,287,629	1,303,294		

【令和3年度残高(次年度剰余金)】

種 別	金額(円)	備 考
かながわ信金 預貯金残高	¥ 2,848,930	
事務局内 現金残高	¥ 660	
残高合計	¥ 2,849,590	

【事務局運転資金】

種 別	金額(円)	備 考
かながわ信金 預貯金残高①	¥ 1,000,000	事務局運転資金

工学会 令和3年度 別途会計 (決算)

(令和3年10月～令和4年9月)

[預金明細]

旧 会 費	①三菱UFJ銀行 普通預金	収入	支出	残高	備考
	①	繰越金額	802,544	0	802,550
	利息	6	0		
	為替手数料	0	0		
	②りそな銀行 定期預金	収入	支出	残高	備考
	②	繰越金額	5,004,753	0	5,004,838
	利息	85	0		
為替手数料	0	0			
旧会費 合計				5,807,388	

記 念 事 業 費 積 立	③郵貯銀行 普通預金	収入	支出	残額	備考
		繰越金額	667,419	0	667,425
		利息	6	0	
		為替手数料	0	0	
記念事業費積立金 合計				667,425	

別途会計 合計

6,474,813

2号議案（その2）

令和3年度 監査報告

監査は例年、会長、会計理事立ち合いのもと、事務局とお二人の監査の方々が対面の場で、関係資料を基に内容を確認しながら監査を行って頂いてきました。コロナ禍の影響により、関係資料をpdf化したうえでメール送信し、監査前に確認していただきました。令和4年10月8日（土）13:30から対面とリモートの併用で監査に関する質疑応答を行い監査としました。

このため、監査結果を「監査報告書」として提出して頂く際に、個別に署名・捺印して頂き、事務局に返送して頂きました。

その結果、編集の上で書面余白部分を割愛し、以下のような紙面の形で議案として提出することと致しました。ご理解頂ければと思います。

監査報告書

令和3年度 日本大学生物資源科学部校友会 工学会 会計決算報告書および関係書類について厳正に監査したところ、適正に処理されていることを認めます。


令和4年 10月 8日

会計監査 氏名 塚越秀雄 

監査報告書

令和3年度 日本大学生物資源科学部校友会 工学会 会計決算報告書および関係書類について厳正に監査したところ、適正に処理されていることを認めます。

令和4年 10月 11日

会計監査 氏名 徳山英二 

3号議案 令和4年度 事業計画(案)

1) 学科振興対策

- ①就職支援セミナー（11/26）の後援
- ②就職支援HPの開設・維持
- ③就職支援セミナー参加者への飲料等

2) 準会員（在学生）への支援・補助

- ①測量学実習着・ゴーグル購入補助（2年）
- ②インターンシップ参加学生に対する交通費一部補助（3年）
- ③卒業生表彰「工学会長賞」（4年）
- ④卒業記念品（印鑑付きボールペン）贈呈（4年）
- ⑤謝恩会支援・補助（4年）
- ⑥学会発表者支援

3) 正会員親睦の補助

- ①学部校友会報の発送
- ②工学会HP・の維持・更新、新設コーナー設置による情報発信の拡充
ホームページ上に工学会・学科の近況報告、「役員紹介」、「会員だより」等のコーナーを新設し、工学会から会員への情報発信を積極的に行う。
- ③令和5年度総会・交流会…コロナ禍の感染状況による

4) 会議・行事等の開催

- ①理事会（3～4回/年）
- ②役員会（1回/年）
- ③総会（1回/年）

5) 新設学科（環境学科）との意見交換

工学会 令和4年度年間スケジュール（案）

（令和4年11月26日 修正）

（令和4年10月1日～令和5年12月31日）

年 月 日	事 項	内 容	摘 要
R4. 10. 1		《令和1年度スタート》	
R4. 10. 8		会計監査	R2 年度会計決算
R4. 10. 29	土	第1回理事会	R3 年度事業報告・決算報告 学科再編に伴う対応について
R4. 11. 26	土	第2回理事会	R4 年度事業計画・予算案他 学科再編に伴う対応について
R4. 11. 26	土	就職支援セミナー	公務員 17 団体，民間企業 16 社 卒業生（会員）約 50 名参加
R4. 12.		校友会報発送	役員会案内
R4. 12～R5. 1		新設学科との意見交換	
R5. 3. 18	土	第3回理事会	年間スケジュールの確認，総会・交流会・就職支援セミナーの反省，卒業生表彰者選考他
R5. 3. 18	土	役員会	R3 年度事業報告・決算報告 R4 年度事業計画・予算案他
R5. 3.		学科謝恩会	工学会長賞授与，卒業記念品贈呈謝恩会費用補助
R5. 3. 25	土	卒業式	
R5. 5			実習服購入支援（購入者のみ）
R5. 7. 8?	土		（第4回理事会開催の可能性は？）
R5. 9.	土	第4回理事会	R3 年度決算案の審議、R4 年度事業計画・予算案の審議 他
R5. 10. 1			新年度スタート
R5. 10（上）		会計監査	
R5. 10.	土	第1回理事会 役員会	
R5. 11.	土	総会 交流会	就職支援セミナー同日開催

4号議案 令和4年度 予算(案)

(資料-4-1)
令和5年2月11日工学会 令和4年度 一般会計予算(案)

(令和4年10月～令和5年9月)

【収入の部】

科 目		R04年度予算	R03年度予算	差異	摘 要
会費	会費	1,020,000	1,590,000	▲ 570,000	
	1.学部校友会交付金	1,020,000	1,590,000	▲ 570,000	
	分会交付金	990,000	1,560,000	▲ 570,000	準会員(3学年:360人)×2750円
	会報発送費補助金	30,000	30,000	0	
	2.別途会計繰入金	0	0	0	
積立金・繰越金・その他		2,849,590	697,629	2,151,961	
	1.前年度繰越金	2,848,930	696,969	2,151,961	
	2.その他	660	660	0	
収入 合計		3,869,590	2,287,629	1,581,961	

【支出の部】

科 目		R04年度予算	R03年度予算	差異	摘 要	
経常費	経常費	930,000	1,160,000	▲ 230,000		
	1.事務局運営費	50,000	50,000	0		
	2.会合費	20,000	20,000	0		
	3.交際費	50,000	50,000	0		
	4.交通費	150,000	150,000	0		
	5.補助費	640,000	870,000	▲ 230,000		
		1)学科振興対策費	100,000	300,000	▲ 200,000	
		2)準会員補助費	440,000	470,000	▲ 30,000	
		①学会発表者支援	90,000	90,000	0	
		②卒業生表彰(4年)	50,000	50,000	0	
		③実習着支援(2年)	120,000	300,000	▲ 180,000	2年次学生分のみ
		④インターシップ支援(3年)	100,000			新設
		⑤その他	80,000	30,000	50,000	コロナ感染予防
		3)謝恩会補助費(4年)	100,000	100,000	0	
		4)その他	0	0	0	
	6.通信費	20,000	20,000	0	切手,ハガキ,宅配便	
事業費	事業費	1,080,000	980,000	100,000		
	1.総会・懇親会補助費	300,000	0	300,000	総会案内,交流会	
	2.新入生記念品(1年)	0	200,000	▲ 200,000		
	3.卒業生記念品(4年)	250,000	250,000	0	名前印鑑付きペン	
	4.会報発送費	30,000	30,000	0		
	5.ホームページ維持・更新費	500,000	500,000	0		
予備費		1,859,590	147,629	1,711,961		
その他(次年度繰越含む)		1,859,590	147,629	1,711,961		
支出 合計		3,869,590	2,287,629	1,581,961		

工学会 令和4年度 別途会計(案)

(令和4年10月～令和5年9月)

[預金明細]

旧 会 費	①三菱UFJ銀行 普通預金	収入	支出	残高	備考
	繰越金額	802,550	0	802,550	
	① 利息				
	為替手数料				
	②りそな銀行 定期預金	収入	支出	残高	備考
	繰越金額	5,004,838	0	5,004,838	
② 利息					
為替手数料					
旧会費 合計				5,807,388	

記 念 事 業 費 積 立	③郵貯銀行 普通預金	収入	支出	残額	備考
	繰越金額	667,425	0	667,425	
	利息				
	為替手数料				
記念事業費積立金 合計				667,425	

別途会計 合計

6,474,813

[報告事項]

『令和5年 学科改組の概要』

～生物環境工学科と工学会～ 説明資料

『令和5年 学科改組の概要』
～生物環境工学科と工学会～

日本大学生物資源科学部校友会分会 工学会
会長 酒川 和男

生物資源科学部は
これからの時代を見据えて
新たに
生まれ変わります。

2023年4月
新学科体制へ
【学部改組募集中】

日本大学生物資源科学部
COLLEGE OF AGRICULTURAL, SCIENTIFIC & MEDICAL SCIENCES
NIPPON UNIVERSITY



目 次

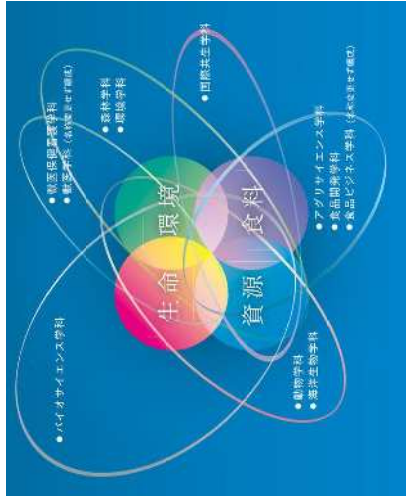
1. 生物資源科学部 学科改組
2. 生物環境工学科の廃止と環境学科の設立
3. 学科改組に伴う学部校友会と分会

1. 生物資源科学部 学科改組

1.1 学科改組の趣旨と狙い

- 生物資源科学部は早くから「生命」、「環境」、「食料」、「資源」に関する教育・研究とこれらの諸問題を解決し、将来の担うことの出来る人材の育成に取り組んできた。
- グローバル化・ポータラビリティ化した社会において、新たな問題や一層複雑化した問題が出てきた。
- 国連はSDGsを掲げ、諸課題を解決することのための取り組みを進め、**One Health**のように人・動物とそれを取り巻く環境（生態系）の健全性を「**1-つの健康**」として包括的に捉え、関連する学術分野が連携して問題解決に当たる必要が出てきた。
- 生物資源科学部は、今日の「生命」、「環境」、「食料」、「資源」の諸問題を解決するために、新たな視点から教育・研究に取り組み、最先端の知能・技術とSDGsやOne Healthの意識をもって対応できる優秀な人材の養成が急務と考へ、**既存の学科の内容・構成を大きく見直し、9つの学科を新設して全11学科の構成で新たな生物資源科学部として令和5年4月にスタートを切る**こととなった。

1.2 学部の学科構成概念



1.3 現在の学科と新11学科の名称

現在の学科名 (旧名称)	新学科名称	摘要
1 生物環境工学科 (農業工学科)	1 環境学科	
2 海洋生物資源学科 (水産学科)	2 海洋生物学科	
3 森林資源科学科 (林学科)	3 森林学科	
4 生命農学科 (農学科)	4 アグロサイエンス学科	
5 動物資源学科 (畜産学科)	5 動物学科	
6 食品生命学科 (食品工学科)	6 食品開発学科	
7 食品ビジネス学科 (食品経済学科)	7 食品ビジネス学科	
8 獣医学科	8 獣医学科	
9 国際地域開発学科 (拓殖学科)	9 獣医保健看護学科	新設
10 生命化学科 (農芸化学科)	10 国際共生学科	
11 応用生物科学科	11 ハイオサイエンス学科	統合
12 くらしの生物学科 (短期大学)		廃止

1.4 学科別改組の内容

改組の内容	現 学 科 名 (分室名)
名称変更なし カリキュラム変更無し 異動となる教員数は僅か	獣医学科 (角笛会)、食品ビジネス学科 (いもづる会)
名称変更あり カリキュラム大幅変更 異動となる教員数は様々	生物環境工学科 (工学会)、生命農学科 (高根会)、動物資源学科 (満喜葉会)、森林資源科学科 (あすなろ会)、海洋生物資源学科 (桜水会)、食品生命学科 (F T会)、国際地域開発学科 (拓友会)
学科の新廃合	生命化学科 (咲友会)、応用生物科学科 (学科校友会)
学科の廃止	くらしの生物学科 (学科校友会)

1.5 学科教員の配属

学 科 名 (分 科 名)	講 義 科 目										専 門 学 科	
	環境学 環境学 環境学	環境学 環境学	環境学 環境学	環境学 環境学	環境学 環境学	環境学 環境学	環境学 環境学	環境学 環境学	環境学 環境学	環境学 環境学		
1 環境学	14	10	2									環境学
2 環境学	15	1	11									環境学
3 環境学	45			38								環境学
4 環境学	11	3										環境学
5 環境学	14				14							環境学
6 環境学	13											環境学
7 環境学	15								14			環境学
8 環境学	14	2								9		環境学
9 環境学	14										14	環境学
10 環境学	13	3				1					2	環境学
11 環境学	15				10		4		1			環境学
12 環境学	4						4		1	11	1	環境学
総 計	191	20	27	38	16	15	12	15	16	19	12	9

(注) 環境学は専任教員が、環境学以外の専任教員が担当しています。

2. 生物環境工学学科の廃止と環境学科の設立

2.1 環境学科の概要

環境学 科

地球環境×自然環境保全×持続可能な社会

地球規模で発生している環境問題の解決方法や自然環境の保全について学びます

自然環境

地球環境

都市環境

現在、国際社会の大きな課題となっている環境問題について学びます。その内容は、地球環境や自然環境から資源生産・資源循環、都市・広域圏まで広範囲に及びます。広い視野とグローバルな視点も備えた、人と自然の共生環境を保全・管理・創造できる1種か2種かの人材を育成していきます。

資格：土木系専門技術者/環境技術者/環境衛生技術者/環境保健技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者
 /環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者
 /環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者/環境保健衛生技術者



2.2 講義科目一覧

分野	講義科目
① 地球環境	地球環境学、大気環境学、気象学、地球温暖化対策、地理情報リモートセンシング実習Ⅰ、地理情報リモートセンシング実習Ⅱ
② 自然環境	植生学、生物圏水循環学、保存生物学、土壌科学分析、水質分析学、指標生物学、水の科学、水の流れの科学、陸域保全学、陸域保全学、陸域保全学、水圏環境学、河川生態学、環境微生物学、湿地環境学、水圏環境学、水圏環境学、河川環境の防災、水圏生物学、水圏環境学実習Ⅰ、水圏環境学実習Ⅱ、土壌環境学実習Ⅰ、土壌環境学実習Ⅱ、土壌環境学実習Ⅰ、土壌環境学実習Ⅱ
③ 都市環境	都市環境学、緑地環境学、環境計画学、環境の材料と構造、ランドスケープデザイン、都市防災学、環境保全の施工と管理、環境の材料と構造実習Ⅰ、環境の材料と構造実習Ⅱ、緑地環境学実習Ⅰ、緑地環境学実習Ⅱ、環境アセスメント調査Ⅰ、環境アセスメント調査Ⅱ

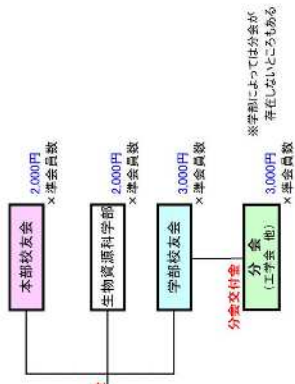
2.3 卒業後の資格と活躍分野

- 取得出来る免許・資格；中学校教員（理科）、高等学校教員（理科）、測量士補、自然再生士補、環境再生医（初級）
- 受験資格；造園施工管理技士、ビオトープ管理士（2級）登録ランドスケープアーキテクト（JABEE、一級建築士等の工学系は消滅）
- 将来の活躍分野；環境調査や分析に関わる仕事、環境に関わる公務員、建設・造園・まちづくり・防災に関わる仕事、環境計画コンサルタント、教員等

3. 学科改組に伴う学部校友会と分会

3.1 学部校友会と分会の活動資金

現在の校友会の活動資金は、大学が在学生から毎年学費と共に徴収する「準会員納付金」(10,000円/年) × 準会員数を基本的な歳入金として成り立っている



※学科によっては分会が存在しないところもある

3.2 学科改組後の分会の対応方針

学科学科名	分会名	対応方針
1 医学部	学生会	所属は変更のままで継続していく
2 薬学	いっしょの会	新学部の薬学専攻と旧学部の薬学専攻が併存し、分会は併存し継続していく
3 動物環境衛生学	動物環境衛生学	学部の名称が変更されても分会の名称は変えずに継続していく
4 動物環境衛生学	あすなろ会	新学部の専攻員と旧学部の専攻員は引き続き、あすなろ会の員とする
5 地球環境科学	地球会	新学部の地球環境科学専攻と旧学部の地球環境科学専攻は引き続き、地球会の員とする
6 国際地球環境学	地球会	新学部の国際地球環境学専攻は、旧学部の地球環境科学専攻として引き続き継続していく
7 環境工学	F Y会	新学部の環境工学専攻は、旧学部の環境工学専攻として引き続き継続していく
8 環境工学	環境会	新学部の環境工学専攻は、旧学部の環境工学専攻として引き続き継続していく
9 生命化学	生命化学会	新学部の生命化学専攻は、旧学部の生命化学専攻として引き続き継続していく
10 応用生物科学	応用生物科学会	新学部の応用生物科学専攻は、旧学部の応用生物科学専攻として引き続き継続していく
11 工学的生物科学	工学的生物科学会	新学部の工学的生物科学専攻は、旧学部の工学的生物科学専攻として引き続き継続していく
12 生物環境工学	生物環境工学会	新学部の生物環境工学専攻は、旧学部の生物環境工学専攻として引き続き継続していく

3.3 校友会 会費制度の見直し

本部校友会は健全な管理運営体制実現のための検討組織「改革会議」の第1次学費申請を公表した。(令和5年11月30日発行の「日大新聞」より抜粋)

今後、会費制度が大きく見直された場合、次のような方向となることも予想される。

- ① 在学生からの会費徴収の廃止
- ② 在学生からの会費徴収金額の減額

こうなれば、学部校友会及び分会の活動資金は大きな影響を受け、**自力の資金確保**が不可欠となる。



2.4 現・新学科別入学・卒業時期

学科学科名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
理学部								
理学部 理学								
理学部 応用物理学								
理学部 化学								
理学部 地球化学								
理学部 生物科学								
理学部 地球環境科学								
理学部 国際地球環境学								
理学部 環境工学								
理学部 生命化学								
理学部 応用生物科学								
理学部 工学的生物科学								
理学部 生物環境工学								
工学部								
工学部 機械工学								
工学部 電気電子工学								
工学部 情報工学								
工学部 環境工学								

3.4 新学科を構成する教員の意向

(1) 主な意見

- 新学科を構成する科内会議において、教員からの意見としては、
 - 新学科は新設された学科であり、名称変更ではなく、カリキュラムも現学科とは大きく異なり、他学科から異動してくる教員も多く、現学科を引き継ぐものではなく、別組織である。
 - したがって、新学科から誕生する卒業生が**工学会を引き継ぐ運理はない**。

(2) 教員構成人員数

- 新学科を構成する教授、準教授ほかの人員数内訳

所属	教授	準教授	講師ほか	計
現学科	3	3	3	9
他学科	3	2	2	7
計	6	5	5	16

3.6 学部校友会の対応方針

学部校友会からの要請として、次のような文書が発信された。

(1) 7月16日幹事会における配布文書抜粋

- 学部としては**統合**する分会の扱いについては、**当事者間で検討**して頂きたいと考えます。
なお、**分会の再編**について、学部は**校友会に一任**ということです。
- 新学科に卒業生が誕生し、分会が設立されるまでの間は新学科に交付金の受け皿**になって頂くことを願います。

(2) 10月24日付の訂正文書

- 新学科に分会交付金を支給することになりますが、新学科に分会が設立されるまでの間は**現存する分会がその受け皿**になって頂けるよう、ご検討願います。

3.5 校友会とは？

(1) 校友会の会員

- 校友会の会員は、「会則」において次のように定められている。
- これによれば、会員は全て「卒業生」となっている。

本部校友会	会員は、学校を卒業した者をいう
学部校友会 (工学会に属する 専攻のみ抽出)	正会員は、農獣医学部 農業工学科、生物資源科学部 生物環境工学科の卒業生とする
工学会	正会員は農業工学専修卒業生、農業工学科卒業生、生物環境 工学科卒業生とする

(2) 準会員のみの校友会分会は原則論としてあり得るものなのか！！？

3.7 工学会の対応方針

工学会の今後の対応方針としては、大きく分けて次の3つのケースを考えています。

ケース	方針	課題等
1	新学科の卒業生が誕生するまでの 当面の間 、 現・新学科に学生を対象にして工学会が代 行運営を続けた後に、改めて協議を行い方 針を決定する	<ul style="list-style-type: none"> 在学生全員への準会員支援が可能 代行運営について新学科教員の理解、協力が不可欠
2	現学科に卒業するまでの間、現学科 に学生（準会員）に限定した運営を行い、 その後は ※準分会 となって活動を続ける	<ul style="list-style-type: none"> 新学科に卒業生への準会員支援が行えず、在学生が不公平感を抱く 準分会として活動する上での条件や権利関係が不明確 ⇒ 学部校友会での対応が不可欠
3	経過期間を経て、学部校友会に 一本化 した 体制に移行する	<ul style="list-style-type: none"> 11分會中、過半数が現状の分会のまま、 継続する方針を明確にしている中で、一 本化の実現は幾多の困難がある

※準分会：学部校友会会則第6条「学科の統廃合等により分会でなくなった校友会組織を「準分会」という。